



あながある!

傍に用意していたボールをすぐに見つけて入れています。

いれてみよう...

穴を見つけてると、穴を覗きこんで、中はどんな風になっているのか確認しています。



ここからでてるよ

下から出てくる事に気づき、下からも覗きこんでいます。



わたしもはいてみよう



そこでダンボールを持ってくると

持つところを変えたり、ダンボールの周りを回ったりと試行錯誤していました。

うーんはいれないよ

急に箱の上へ上がって、小さな穴に入ろうとしたので、しばらく見守ると、入れないことに気づき助けを求めました。



これにはいてみよう!



はいれたよ!

手足を使って重心を大きく移動させて箱の中に入ったり出たりしています。重心を移動する運動を繰り返すことで**平衡感覚**が養われます。自分自身を“入れたり出したり”することをイメージしながら、自分自身の大きさ、自分の身体そのものを自覚します。そして『中と外』の違いから、世界が立体であることを体感し、**奥行き**の理解が深まり、**空間認知力**が高まります。子どもたちは、あそびの中でたくさんのことを学んでいます。